



先般、歴史ミステリー秀長のよろい、と題してこの欄に書かせていただいたが、掲載された翌日には新聞の切り抜きを持った方が何人もわが家の見学に訪れ、マスコミの影響力はさすがと再認識させられた。影響が大きいだけにその責任も重大ということだろう。

その秀長のよろいについての後日談であるが、NHK大阪から突然電話が入った。聞けば秀長のよろいについて取材をした、という。どこで聞きつけたのか尋ねたところインターネットでいろいろ検索をしていてわが家のホームページにたどり着いたとのこと。

目的は人気番組「そのとき歴史は動いた」で豊臣秀吉の家族をテーマに、まず弟で名参謀と

いわれた秀長を取り上げ「太閤記を演出した弟」として放映の計画が進んでいる。その番組の中に秀長のよろいを登場させた

### よろいの出演 長テレの続



草野 義輔

い、ということであった。

手元にある経緯も不明で、か

つ秀吉に謀殺された先祖を持つ草野氏としては、などというこ

とは全く考えもせずディレクター氏の説明を聞いてスタジオへ

の搬送を快諾した。

わが家に残る古文書で安政元年（一八五四）年に代官所に出した書き付けに「明和年中（一七

七〇年ごろ）播磨十太夫様御支配元先祖より持ち伝わりし具足有りとお聞き及びご沙汰有り、三領差し出し御覽候処そのま

にてお下げ無く、代金は些かも乞ひ申さず」と記されており、結論から言えば伝来のよろいを代官に取られてしまったよう

だ。惜しかったと思うが、秀長のよろいが残ったことは言い換えれば残り物には福があった、ということかもしれない。

九月十三日が放映日であるが、よろいのテレビ出演を記念して、初めて秋にも一般公開することにした。

（日田市昭和学園高校理事長）